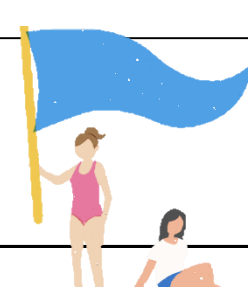
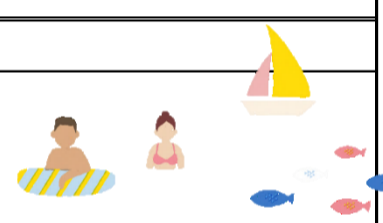


UEKUSA SUMMMER OPEN CAMPUS

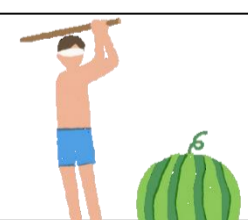

7/10(土)

	大学			短大
	発達教育学部 発達支援教育学科	リハビリテーション学科 理学療法専攻	リハビリテーション学科 作業療法専攻	こども未来学科
テーマ	道徳「心の優先席」より	歩行の観察ポイント	ICT/デジタル技術の活用と作業療法	のぞいてみよう！ 保育園・幼稚園の子どもの世界
内容	電車やバスで「優先席」を目にすること、ありますね。優先席は、なぜあるのでしょうか。またどのような使われ方をしているのでしょうか。そんな「優先席」を教材にした授業を紹介します。この授業は大学生にも好評です。そして小学校でも実践した授業です。高校生のみなさんは、どんな考えや意見をもつのでしょうか。大変関心があります！一緒に考えましょう！	「歩く」動作のことを歩行といいます。歩行は理学療法の対象として重要な動作です。思うように歩けなくなったり、歩きたびに痛みがでるのは誰でも嫌ですね。患者さんが歩くときに痛む部位や動きにくい関節を、理学療法士はその様子をを観察することによって見つけ出します。今日は歩行観察の基本やポイントについてお話します。	医療福祉領域において便利なITツールが増えてきています。生活支援を行う作業療法士は、これらを活用することで、対象者の方へのよりよい支援につながる可能性があります。本授業では、ICT/デジタル技術を活用した作業療法についてお伝えします。	実習や就職後に会う、保育園・幼稚園の子どもたち。どんなふうに保育園・幼稚園で過ごしているのでしょうか。どんな遊び・絵本が好き？子どもたちの世界を一緒にのぞいてみましょう！
テーマ	4年生が授業紹介します！	自分の生活を見つめてみよう！		
内容	4年生が4年間の大学生活で印象に残った授業や実習ですぐに役に立った授業を選びすぐにご紹介します。4年間で学びの成果をご披露しますので、是非一緒にお楽しみください。	理学療法の最大の目標の一つに日常生活動作(日常を営んでいく能力)の向上が挙げられます。本日の模擬授業では「日常生活動作とは何か？」自分の生活を見つめてもらうことで理解を深め、障害によってどのように生活が変化し、リハビリをすることでどう変わるのかについてわかりやすく説明します！		

7/22(祝)

	大学			短大
	発達教育学部 発達支援教育学科	リハビリテーション学科 理学療法専攻	リハビリテーション学科 作業療法専攻	こども未来学科
テーマ	障害とは何か～共生社会に向けて	手足を動かす脳と神経の仕組み ～電気での仕組みがわかる～	神経難病患者のコミュニケーションを 支える作業療法	障害のある子どもたちとのコミュニケーション
内容	「身体が動かないのは不自由だが、心が動かない不幸の方が私には耐えられません」。寝たきりの重度障害者に言われ、学生たちは言葉を発することができなかった。「障害」を学ぶことは、人間や社会の本質を理解することにつながる。社会を映す鏡のように「障害」は時代によって変わってきた。リアルな現実を紹介する。	人間は脳から電気信号を出して手足を動かします。実際に神経に電気をかけると直接筋肉に届いて収縮を起こすことはよく知られています。また電気のかけ方によっては脊髄から逆行した電気が跳ね返ってきて筋肉を収縮させたりもします。さらに最近では脳に直接電気を流し、手足を動かすことができる機械も作られています。本講義ではそれらのデモンストレーションを通じて、人体の機械的側面をご説明します。	口や手の運動障害によって発話や書字が困難となった時、相手と意思疎通を図るにはどうすれば良いのでしょうか？筋萎縮性側索硬化症(ALS)の事例を通じた作業療法のコミュニケーション支援を紹介します。	保育者は、子どもたちにとって大切なコミュニケーションのパートナーです。障害のある子どもたちの視点に立つて、コミュニケーションを考えてみましょう。
テーマ	植草学園においで♪ 楽しい大学生生活紹介	身体を柔らかくする方法		
内容	植草学園大学では、授業以外の時間で様々な活動や体験ができる時間があります。今回は、植草学園大学での学生生活の魅力金子ゼミ生達がお話してくれます♪学生生活紹介の後半には質問タイムの時間があります!!何でも相談してみてくださいね♪	「体を柔らかくしたいけど、ストレッチは痛いから嫌」と思ってるあなた、そのストレッチは”科学的に正しい”ものですか？ストレッチはただ闇雲にすればいいものではなく、正しい方法があります。せつかつなので、少しだけ体験してみませんか？		

8/8(日)

	大学			短大
	発達教育学部 発達支援教育学科	リハビリテーション学科 理学療法専攻	リハビリテーション学科 作業療法専攻	こども未来学科
テーマ	算数科授業の一端	手関節周囲の運動器の触察 ～骨・筋・神経を触って確認する～	ロボットテクノロジーを用いた リハビリテーション	インクルーシブ保育：手作り保育教材・手遊びワンダーランド！
内容	実際の算数科の授業の概略について、授業の様子を含めて紹介していく。紹介最後には、生活の中から取り上げた教材をみんなで考えたい。	「触察」とは、身体を指先で触って骨、筋、神経などの位置・形状などを確認することです。触察した時に指先で感じる感触は、組織や部位によって異なります。この触察の技術は、理学療法士・作業療法士にとって重要な基本的技術です。今日は手の骨や腱などの触察を練習してみましょう。	近年、ロボットテクノロジーを用いたリハビリテーションが普及しています。介護支援、自立支援、機能代替、機能促進、精神活動賦活などを目的としたロボテック・リハビリをわかりやすく解説します。	手遊びは人間の子育ての歴史の中で生まれ、育まれてきました。今回は障害のある子どもにも楽しく人気のある手遊びを厳選しました！小学校低学年でも楽しめます。また、どの子どもでも楽しめる笑撃の保育教材を紹介したいと思います。どの子どももインクルーシブ(つつみこむこと)ができる保育をともに目指しましょう！
テーマ	3年生による実演紹介！	理学療法士の力		
内容	大学に入ったらどんな授業があるのかを、3年生に楽しく紹介してもらいます。子どもとかかわる力を高めていくためのすぐに実習で役立つ内容がいっぱいです！	現在、そしてこれから社会から求められる理学療法士の業務の多様性、そして理学療法士の可能性について述べていきます。		

8/21(土)

	大学			短大
	発達教育学部 発達支援教育学科	リハビリテーション学科 理学療法専攻	リハビリテーション学科 作業療法専攻	こども未来学科
テーマ	大学生が活動の成果を発表します！	医学の知識で会話が弾む！	音楽療法の基礎と応用	保育者に必要な「人間関係」について考えてみよう。
内容	本研究室に所属する学生は、衣食住や家庭科教育に関心をもち、それぞれが課題を見つけて研究に取り組んでいます。明るく個性的な学生たちが1年間の活動の様子を紹介し、本学で学ぶ楽しさをお伝えします。みなさんとお話をする時間もとりますので、大学生活についてどんどん質問してくださいね。	これまで新型コロナウイルス関連のニュースをたくさん耳にしたと思います。その中で、PCRって何だろう？偽陽性って何？新型ワクチンの有効性はどうか調べているの？など医学専門知識のない方にはわからないことが多かったと思います。理学療法士は患者さんと長い時間を過ごし、たくさんお話をします。前述のような質問を患者さんに聞かれたらどう説明するか、一緒に考えてみましょう！	本学では、作業療法士免許の受験資格に加えて、日本音楽療法士養成協議会が認定する音楽療法士(2種)を取得できます。本学で展開される音楽療法の授業の一端を、是非体験してください。	保育の仕事には、様々な人間関係があります。保育者に必要な人間関係について、演習をしながら考えていきましょう。
テーマ	子どもと身体表現	どうやって関節をうごかすの？ ～理学療法士の考え方～		
内容	子どもの生活のなかには、全身で笑う、跳びあがるなど豊かな身体表現があふれています。そんな身体表現の世界を、実際の授業を取り上げながらご紹介します。	関節が固くなってしまったり、本来動かせる角度まで動かせなくなってしまった患者様が沢山来院されます。手術しないで理学療法を行うことも多々あります。理学療法士はどのように固くなってしまった関節の運動を促すのでしょうか。理学療法士の世界での関節の動きの考え方と、動かしかたをお伝えします。		